

# 令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 以和貴会

# 令和元年度 事業報告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

## 1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に、利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう、『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して、楽しく生活できるよう個別支援に努める。

## 2. 事業方針

### (1) 介護支援

基本方針	利用者及び家族のニーズを把握し、ニーズに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。	
重点目標（・実施計画）	※実施報告	
1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 （・個別のケアプランを多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。）	※入所者個別のケアプランを担当職員と共に他職種協働で作成した。 ※入所者と関わる介護員や看護員との情報共有、共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。	
2. 研修に参加し、スキルアップを図る。 （・自らのケアプラン作成や実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。 （・介護支援専門員更新研修への参加や主任介護支援専門員取得の為の研修へ参加し、スキルアップに努める。）	※施設介護支援専門員研修に参加し、介護支援のスキルアップ、他施設職員との情報共有に努めた。 ※ケアプラン作成、実施状況の評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。	

### (2) 生活相談

基本方針	病態の憎悪に伴い、身体状態の重度化や速やかな対応が職員に求められるため、職員個々のスキルアップに努める。	
重点目標（・実施計画）	※実施報告	
1. 病態の重度化に関する対策について （・病態の重度化が進んできている利用者が増加しており、主治医や他の医療機関との連携による速やかな対応が求められることから、日頃より家族とのきめ細かい連絡調整を行い、また、施設の他職種の職員とも情報を共有化し、病態の急変時等においても、速やかかつ適切に対応できるよう努める。）	※家族との連絡調整を行い、主治医や他の医療機関との連携、対応が速やかに行えた。	
2. 入所稼働率の安定化を図る。	※新規利用者の調整を速やかに行うこ	

(・利用者の重度化により入所期間の縮小が予見できることから、より一層空き部屋対策が必要であり、経営的観点から施設職員各々において速やかに次の利用調整が行えるよう入所稼働の考え方を統一し稼働率のアップを目指す。)	とに努め、前年度の稼働率と比べ1%アップすることができた。
---	-------------------------------

(3) 健康管理

基本方針	利用者の健康状態を的確に把握するとともに、嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。	
重点目標 (・実施計画)	※実施報告	
1. 利用者の健康状態の管理 (・医師、看護、介護の連携のもと、利用者一人一人のバイタルサインと体調チェックをし、早め早めの対応をする。)	※医師、看護、介護、相談員、ケアマネとの連携のもと、利用者一人一人のバイタルチェックをし、早めの対応をした。	
2. 誤嚥の防止 (・食前体操を行い口腔機能を高めるとともに経管栄養者の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。)	※経口摂取、経管栄養の利用者共に食前体操を行い、口腔機能を高め誤嚥防止に努めた。	
3. 転倒防止 (・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ、転倒防止に努める。)	※機能訓練を行い筋力の維持、低下防止に努めた。	

(4) 給食

基本方針	利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持、増進を図り、季節の行事食などから楽しく豊かな生活を過ごしていただく。	
重点目標 (・実施計画)	※実施報告	
1. 健康の維持・増進のため、個々の適切な栄養管理を図る。 (・栄養スクリーニング等の様式を新たにし、よりきめの細かな栄養ケアマネジメントを実施する。また、多職種とともに個々の利用者のリスク改善に努め、個々の健康維持、増進を図る。)	※新たな様式で毎月栄養ケアマネジメントを実施し、多職種とともに利用者のリスク状況に応じて低栄養防止や栄養改善に努め健康の維持・増進を図った。	
2. 個々のQOL (生活の質) の向上に努める。 (・個々の嗜好に合わせて、代替食を提供したり、月2回の行事食を実施し、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)	※入所時に嗜好調査を実施して、食べられない食品があれば代替食を提供した。また、月に2回程度、特別な行事食として季節感のある食事提供をした。	

(5) 職員

基本方針	職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識及び技術並びに資質の向上に努める。
------	---

重点目標（・実施計画）	※実施報告
1. 専門職としての資質向上に努める。 （・各研修会に積極的に参加する。） （・資格取得に努める。）	※各種団体主催研修に参加し、資質向上に努めた。
2. 健康管理に留意する。 （・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。） （・インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。）	※健康診断・インフルエンザ予防接種を実施し、健康管理に留意するよう呼びかけ、疾病の予防に努めた。

(6) 苦情処理

基本方針	苦情や要望の発生状況を速やかに察知し、迅速にその対応ができるよう、職員全体で対策の共有化を図り、重大な苦情に発展しないよう努める。
重点目標（・実施計画）	※実施報告
1. 基本的なミス等による苦情をなくす。 （・不適切な言動による苦情発生をなくすため、接客研修の機会を設ける。）	※接客研修に参加することはできなかったが、不適切な言動等の苦情はなかった。
2. 苦情発生時は迅速かつ適切な対応を行う。 （・苦情発生時は原因を明確にし、全職員で情報の共有化を図るとともに、苦情発信者に対しては迅速、丁寧な対応を行う。）	※苦情はなかったが、要望等へは可能な限り対応できるように努めた。

(7) 事故防止

基本方針	事故発生の原因の考察と対策を迅速に行い、策定した対策はケアプラン等において情報共有化を図り、また、職員研修を実施して職員全体で考える機会を設ける。
重点目標（・実施計画）	※実施報告
1. 事故発生の原因考察と事故防止対策について （・事故発生メカニズムをチームで考え、事故因子の改善対策を策定し、これをケアプランに事故対策として盛り込むことにより、職員の情報の共有化を図る。）	※事故が多い利用者には、事故防止の対策をケアプランに取り入れ、職員間で共有し事故防止に努めた。
2. 事故防止対策に関する職員研修の実施について （・事故発生の原因考察において、繰り返し発生した事故や骨折等の重大事故を取り上げた職員研修を実施し、より一層詳細な事故対策の周知に努める。）	※施設内で勉強会を行い、事故防止に努めた。

(8) 施設防災

基本方針	火災や自然災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。
重点目標（・実施計画）	※実施報告
1. 防災訓練の実施 （・消防計画に基づき防災訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。）	※防災訓練を実施して、防災に対する意識づけを行った。
2. 消防設備や非常食等の確認 （・消火器等の消火設備や緊急時において必要となる非常食などの点検を定期的実施する。）	※消防機器や非常食の点検を行い、災害に備えた。

(9) 介護

基本方針	利用者一人一人が安全でその人らしい生活が送れるよう、積極的な情報収集と問題解決に向け取り組み、日々のサービス提供に努める。
重点目標（・実施計画）	実施報告
1. 情報の共有 （・部署間、介護職員間の情報交換を積極的に行い、円滑なサービス提供ができるよう努める。）	※情報が正確に伝達できているか、情報が必要な部署に届いているかの確認を行い、円滑なサービス提供に繋げることができた。
2. 介護技術の向上と改善 （・介護技術と専門知識向上のため研修に参加し、日々のサービス提供改善に努める。）	※多くの研修には参加はできなかったが、参加者から技術、知識の伝達を行い、サービス提供の改善につなげることができた。

<各ユニット>

ユニット	目標（・実施計画）	実施計画
山の都	1. 利用者の個々の観察や訴えの重視 （・一人一人の訴えに耳を傾け、訴えの内容や体調の変化等の対応に努める。）	※利用者一人一人に声をかけ、コミュニケーションを取る中で、体調不良や不安に思っていることを聞き出し、速やかな対応ができた。
	2. 生活環境の改善及び衛生保持 （・利用者に不安を与えないよう職員一人一人が業務改善意識を持った衛生管理に注意を払う。）	※ホール、居室、リネン庫、汚物室の整理整頓を行い、清潔を心掛け安全に過ごしていただけるよう努めた。また、換気や手洗いをを行い、感染症対策にも努めた。
季の都	1. 利用者の個々の状態確認及び見極め （・ADL（日常生活動作）低下、病気などによる身体の低下も含め、一人一人の状態を把握し、それにあつた介助ができるようにする。）	※急激なADLの低下を予防するため利用者の観察、状態把握を心掛けた。また、多職種との連携を図りながら、状態に合わせた介助を行うよう努めた。
	2. ユニット内及び各居室の整理	※居室やダンスの上等の整理整頓を

	<p>整頓</p> <p>(・各利用者の居室内にある荷物やタンスの上などの、事故や怪我につながると思われるものの整理整頓を行う。ユニット内でも歩行や車いす自操(自走)の際に接触し得る物の整理を行い、事故防止に努める。)</p>	<p>行った。</p> <p>※車椅子を自操する利用者に危険がないよう、ホール内等の環境を整備し、事故防止に努めた。</p>
海の都	<p>1. ADL(日常生活動作)低下防止に努め活気のある生活を目指す</p> <p>(・口腔体操、機能訓練、レクリエーション活動への参加を積極的に促し、他者との交流を図ることにより、ADL低下防止に努める。)</p> <p>(・他職種職員と共に情報を共有し、体調管理に努める。)</p> <p>(・コミュニケーションを図り活気のある生活を目指す。)</p>	<p>※利用者の状態変化の観察に重点を置き、ADLの低下の防止に努めた。</p> <p>※寝たきりになってしまった利用者に対しても、介助の度に声をかけ、メリハリのある生活が送れるよう努めた。</p>
	<p>2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底</p> <p>(・清潔な衣類、季節に合った衣類を身につける。)</p> <p>(・おむつ交換や入浴介助時に身体の変化を観察し異常の早期発見に努める。)</p> <p>(・一行為一手洗い消毒を徹底し感染を防ぐ。)</p>	<p>※主に入浴時に皮膚の状態、スキントラブル等の有無の確認を行い、皮膚異常の早期発見ができ、速やかな病院受診に繋げることができた。</p> <p>※職員一人一人が手洗い消毒を心掛け、感染防止ができた。</p>
花の都	<p>1. ユニット内の環境整備</p> <p>(・安全に生活を送ることができるよう、ホールや居室の整理整頓に努める。)</p>	<p>※各入所者の担当職員が責任をもって、ベッド周りやタンス内、居室内の整理整頓に努めた。</p> <p>※季節感を楽しんでいただけるよう季節行事などを通して、ユニット内の装飾を行った。</p>
	<p>2. 清潔保持・感染防止</p> <p>(・衣類やリネンの清潔保持に努める。)</p> <p>(・手洗いや消毒をしっかりと行い感染防止に努める。)</p>	<p>※おむつ交換の際には、陰部、臀部の観察、治療が必要な時は速やかな報告に努めた。</p>

森の都	<p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底  (・常に清潔なものを身につける。)  (・おむつ交換や入浴介助を通して身体の変化を観察する。)  (・一行為一手洗い消毒を徹底し感染を防ぐ。)  (・職員の体調管理に努める。)</p> <p>2. ADL (日常生活動作) 低下の防止に努める  (・レクリエーション活動や機能訓練等に積極的に参加を促す。)  (・体調の変化に注意し寝たきりを防止する。)  (・常に声かけを行いコミュニケーションを図る。)</p>	<p>※利用者の衣類が汚れたときは、速やかに交換し清潔の保持に努めた。  ※おむつ交換時や入浴時に身体を観察をして、変化があれば看護職員へ報告し対応した。  ※職員各自が体調管理に努め、感染防止ができた。</p> <p>※利用者の体調に合わせ離床、臥床のバランスをとり、寝たきり防止に努めた。  ※ユニットの行事や家族の面会にて、コミュニケーションを図るよう努めた。</p>
空の都	<p>1. 身体の清潔保持・感染予防  (・常に清潔な衣類を着用し清潔保持に努める。)  (・手洗い消毒を徹底し感染を予防する。)</p> <p>2. 安心して安全な生活を送る  (・各居室内やホールを整理整頓し安全な介護を提供する。)  (・病気や怪我など看護職員と連携し速やかな対応に努める。)</p>	<p>※衣類やリネン等が汚れた場合は、その都度交換し、清潔保持に努めた。  ※手洗い消毒を徹底し感染予防に努めた。</p> <p>※ホール内の整理整頓を行い、安全に過ごしていただけるよう環境を整えた。  ※利用者に変化等があれば、看護職員へ報告し、速やかな対応ができた。</p>

## 令和元年度 事業報告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘  
(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

運営方針	利用者ひとりひとりの心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。	
	重点目標（・実施計画）	※実施報告
	1. サービス利用時の不安を軽減し、利用者が必要とするサービスの提供に努める。 (・丁寧な声かけ等で和やかな雰囲気を作り、不安が少なくなるような環境作りに努める。／家族や居宅介護支援事業所等と連絡を取り、利用者の状態を把握し、利用者や家族が必要とするサービスを提供する。／利用者の状態に合った短期入所計画書を作成し、その計画に基づき在宅生活が続けられるようなサービス提供に努める。)	※声掛けや座席配置の工夫を行い、不安の少ない生活ができる環境作りに努めることができた。 ※こまめに家族や居宅介護支援事業所と連絡・連携し、利用者や家族が必要とするサービスを提供することができた。 ※利用者の状態に合わせ、その都度短期入所計画書を変更・作成した。また自宅に戻ってからの生活を意識した介護の提供ができた。
	2. 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。 (・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活していただく。／苦情発生時は、迅速に誠意を持って対応し、改善対策を検討し再発防止に努める。／居宅介護支援事業所等と連絡を取り、多くの地域利用者に利用していただけるよう努める。／不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り、適切な助言、援助ができるよう努める。)	※利用者の状況や危険箇所の把握を徹底し、事故の予防に努めた。 ※苦情発生時には誠意を持ち対応するよう努めた。 ※利用者や家族とコミュニケーションを図り、気軽に相談できる環境作りに努めた。相談があった場合、助言や援助をすることができた。
	3. 給食 ①健康の維持、増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。(・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食事形態などを考慮し、食事提供する。 ②個々のQOL(生活の質)の向上に努める。(・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)	※利用時は、食事箋の指示に従い適切な食事提供に努めるとともに、常に健康状態や嗜好調査などの状態把握に努め、時には、食事形態の見直しや、代替食を提供した。また、月平均1～2回の行事食も実施し、季節を感じられる食事を提供した。



令和元年度 事業報告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘  
(地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業)

<p>運営方針</p>	<p>在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。</p>	
<p>重点目標（・実施計画）</p>	<p>※実施報告</p>	
<p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減 (・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。／介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。／季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。／定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。)</p>	<p>※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービス提供に努めた。 ※介護者の介護負担軽減につながるサービス提供に努めた。 ※レクリエーション等の充実を図り、季節を感じ、生きがいを感じられるサービス提供に努めた。 ※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、評価見直しを図り、利用者の状態に合ったサービスや個別機能訓練の提供に努めた。</p>	
<p>2. 研修等への積極的な参加 (・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。)</p>	<p>※研修に参加することができ、報告会、事業所内研修を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。</p>	
<p>3. 苦情処理の対応 (・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。)</p>	<p>※利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかに解決をするよう努めた。</p>	
<p>4. 事故対応 (・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 (・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。)</p>	<p>※事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するよう努めた。 ※事故等が発生した場合は、シミュレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。</p>	
<p>5. 給食 ①健康の維持、増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 (・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供する。) ②個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 (・利用者の嗜好に合わせ、代替食の提供、月1～2回の行事食等、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)</p>	<p>※利用時は、食事箋の指示に従い適切な食事提供に努めるとともに、常に健康状態や嗜好調査などの状態把握に努め、時には、食事形態の見直しや、代替食を提供した。また、月平均1～2回の行事食も実施し、季節を感じられる食事を提供した。</p>	

令和元年度 事業報告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(認知症対応型通所介護事業・介護予防認知症対応型通所介護事業)

運営方針	認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。
重点目標（・実施計画）	※実施報告
1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減 (・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。／介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。／季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。／定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。)	※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービス提供に努めた。 ※介護者の介護負担軽減につながるサービス提供に努めた。 ※レクリエーション等の充実を図り、季節を感じ、生きがいを感じられるサービス提供に努めた。 ※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、評価見直しを図り、利用者の状態に合ったサービスや個別機能訓練の提供に努めた。
2. 研修等への積極的な参加 (・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。)	※研修に参加することができ、報告会、事業所内研修を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。
3. 苦情処理の対応 (・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。)	※利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかに解決をするよう努めた。
4. 事故対応 (・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 (・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。)	※事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するよう努めた。 ※事故等が発生した場合は、シミュレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。
5. 給食 ①健康の維持、増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 (・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供する。) ②個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 (・利用者の嗜好に合わせ、代替食の提供、月1～2回の行事食等、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)	※利用時は、食事箋の指示に従い適切な食事提供に努めるとともに、常に健康状態や嗜好調査などの状態把握に努め、時には、食事形態の見直しや、代替食を提供した。また、月平均1～2回の行事食も実施し、季節を感じられる食事を提供した。

## 令和元年度 事業報告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘  
(居宅介護支援事業)

運営方針	在宅において、利用者ひとりひとりが安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努めるとともに、家族へのサポートも大切にする。	
重点目標（・実施計画）	※実施報告	
1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師との連携を図る。 (・関係機関やかかりつけ医師との連携を密にとる。)	※医師や関係機関との連携が出来るだけ取るように努力することができた。	
2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。 (・ニーズに応じたサービス計画書の作成。)	※本人・家族の視点になり各事業所と連携を図り、居宅サービス計画を作成することができた。	
3. 多様なニーズに応えられるよう、研修会等に参加し、資質の向上に努める。 (・研修会等への積極的参加し、他事業所との意見交換を図る。) (・利用者様家族等が安心して相談に応じられるようにする。)	※施設見学などへ参加し、資質の向上に努めることができた。 ※安心して相談できる環境作りに努めた。	

## 〔研修会参加一覧〕

社会福祉法人 以和貴会  
-令和元年度事業報告-

No.	年月日	研修名	主催	部署	出席人数	職種
1	平成31年 4月19日	いわき集団栄養給食研究会総会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
2	令和元年 5月14日	認知症高齢者対応研修	福島県社会福祉協議会	特養	1	介護員
3	5月17日	福島県老人福祉施設協議会 施設部会いわき支部総会	福島県老人福祉施設協議会 施設部会 いわき支部	特養	1	施設長
4	5月23日	第1回 福祉推進会	いわき市社会福祉協議会内郷地区協議会	特養	1	施設長
5	5月28日	新規学卒予定者求人受理説明会	いわき公共職業安定所	特養	1	施設長
6	5月30日	介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市役所保健福祉課法人指導係	特養	2	統括主任生活相談員 生活相談員
				デイ	2	生活相談員 主任事務員
7	5月31日	介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市役所保健福祉課法人指導係	居宅	1	介護支援専門員
8	6月13日	いわき褥瘡ケアネットワーク第19回セミナー	いわき褥瘡ケアネットワーク	特養	2	主任看護員 看護員
9	6月17日	施設ケアマネ研修会	福島県老人福祉施設協議会	特養	1	介護支援専門員
10	6月21日	社会福祉法人事務長等研修	福島県社会福祉協議会人材研修課	特養	1	施設長
11	6月24日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第7回会議	いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
12	7月3日	県社協 経営者協議会総会及び全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー（前期）	福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
13	7月5日	災害・リスク対応研修会	福島県老人福祉施設協議会	特養	1	主任介護員
14	7月19日	福島県老福祉施設協議会 デイサービスセンター部会総会	福島県社会福祉協議会 デイサービスセンター協議会 いわき支部	デイ	1	生活相談員
15	7月23日	安全運転管理者等講習会	福島県公安委員会 福島県安全運転管理者協会	特養	1	施設長
16	7月26日	いわき集団栄養給食研究会総会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
17	7月29日	マネジメント研修～リーダーシップの実践に向けて～	福島県老人福祉施設協議会	特養	1	介護員
18	7月30日	生活相談員研修	福島県老人福祉施設協議会	特養	1	生活相談員
19	7月30日	介護予防・日常生活支援総合事業報酬体系見直し及び共生型サービスの導入に係る説明会	いわき市役所保健福祉部 地域包括ケア推進課	デイ	1	生活相談員
				特養	1	施設長
20	8月19日	令和元年度 主任介護支援専門員研修	福島県介護支援専門員協会	居宅	1	介護支援専門員
21	8月21日	法人後見従事者養成研修	いわき市保健福祉部 保健福祉課	特養	1	統括主任生活相談員
22	9月6日	社会福祉施設看護職員研修	福島県社会福祉協議会	特養	1	看護員
23	9月13日	救急現場における老人福祉施設との連携強化に係る勉強会	いわき市内郷消防署救護係	特養	1	看護員
24	9月20日	認知症サポーター養成講座	いわき市役所保健福祉部 地域包括ケア推進	特養	1	施設長

[研修会参加一覧]

社会福祉法人以和貴会  
-令和元年度事業報告-

No.	年月日	研修名	主催	部署	出席人数	職種
25	9月27日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
26	9月30日	いわき緩和医療研究会 在宅部会 第1回看護師部会勉強会	いわき緩和医療研究会 在宅緩和部	特養	2	主任看護師 看護師
27	10月16日	労務管理の基礎・ポイント17セミナー	全国労働基準関係団体 連合会・福島県労働基 準協会	特養	1	主任事務員
28	10月24日	給食担当職員研修会	福島県老人福祉施設協 議会	特養	1	管理栄養士
29	10月24日	いわき褥瘡ケアネットワーク第20 回セミナー	福島県老人福祉施設協 議会	特養	3	主任看護師 主任介護員 介護副主任
30	11月6日	メンタルヘルス対策に係る説明会	いわき労働基準監督安 全衛生課	特養	1	事務員
31	11月8日	高齢者虐待防止セミナー	福島県保健福祉部高齢 福祉課	特養	1	介護員
32	11月13日	認知症地域相談窓口職員研修	内郷・好間・三和地区 包括支援センター	特養	1	施設長
33	11月20日	第2回地域保健関係職員等研修会 「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保 健課	特養	1	管理栄養士
34	11月27日	いわき市住民支え合い活動づくり事業 「内郷地区第2層協議体」第8回会議	いわき市社会福祉協議 会内郷地区協議会	特養	1	施設長
35	12月12日	いわき市受動喫煙対策講習会	いわき市保健所地域保 健課保健指導係	特養	1	施設長
36	12月16日	「施設長会議」及び「行政との事 務担当者会議」	福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会施 設部会いわき支部	特養	2	施設長 介護支援専 門員
37	12月19日	機能訓練担当者研修会	福島県老人福祉施設協 議会	特養	1	看護師
38	12月25日	老人福祉施設職員研修Ⅱ	福島県社会福祉協議会	特養	1	主任介護員
39	令和2年 1月17日	福島県社会福祉法人経営者協議会 並びに全国社会福祉法人経営者協 議会との共催セミナー（後期）	福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
40	1月29日	福島県老人福祉施設協議会 デイ サービスセンター部会 臨時総会	福島県老人福祉施設協 議会 デイサービスセ ンター部会 いわき支	デイ	1	生活相談員
41	2月26日	いわき市住民支え合い活動づくり事業 「内郷地区第2層協議体」第8回会議	いわき市社会福祉協議 会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
42	2月16日	福島県認知症介護実践者研修	福島県保健福祉部 高 齢福祉課	特養	1	統括主任生 活相談員
43	2月20日	第3回地域保健関係職員等研修会 「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保 健課	特養	1	管理栄養士
44	2月21日	福島県老人福祉施設協議会 第2回 総会並びに施設長研修会	福島県老人福祉施設協 議会	特養	1	施設長
*合計					53名	
				*内訳	本部	0名
					特養	46名
					デイ	5名
					居宅	2名